

都市再生整備計画 事後評価シート

保内地区

令和4年2月

愛媛県 八幡浜市

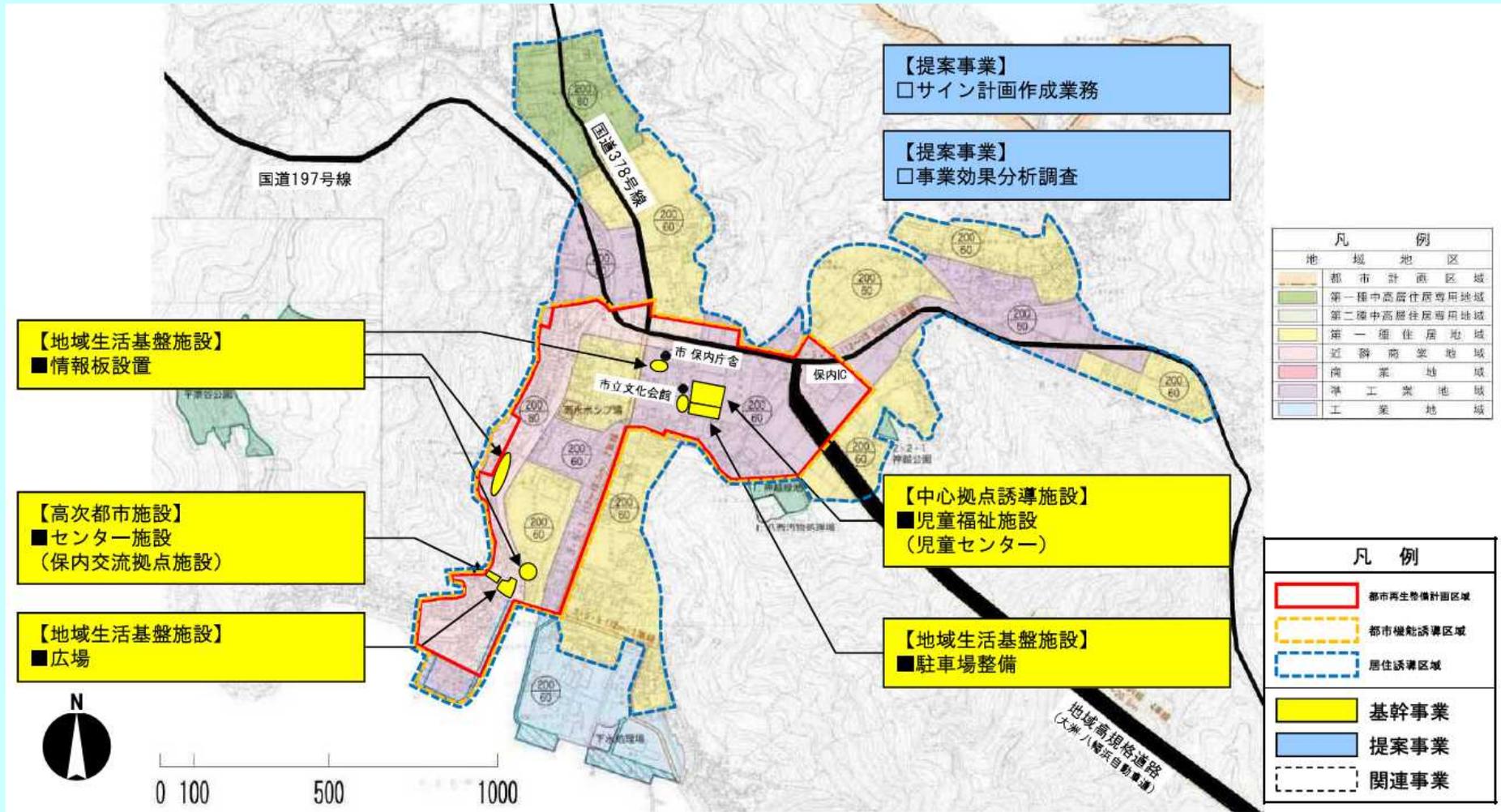
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛媛県	市町村名	八幡浜市	地区名	保内地区	面積	54.2 ha							
交付期間	平成28年度～令和2年度	事後評価実施時期	令和3年度	交付対象事業費	724.4 百万円	国費率	0.5							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】広場(川之石地区)、駐車場、情報板(地区内) 【高質空間形成施設】地域交流センター、児童センター(児童厚生施設)											
		提案事業	なし											
			事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし											
		提案事業	なし											
	新たに追加した事業	基幹事業	なし											
	提案事業	【事業活用調査】サイン計画作成業務		令和2年1月に関連事業から提案事業に変更		影響なし								
	提案事業	【事業活用調査】事業効果分析調査		令和2年1月に関連事業から提案事業に変更		影響なし								
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成32年度(令和2年度)		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-								
	変更	-		-		-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	まちなみガイド利用者数	人/年	1,099	H25	1,360	R2	-	373	×	あり なし	●	新型コロナウイルス感染症により、交流人口拡大を図るイベントを開催ができなかったことが、未達成の直接的要因である。	-
	指標2	児童センター利用者数	人/日	24	H26	60	R2	-	70	○	あり なし	●	児童センターと隣接する駐車場が整備されたことにより、交流人口の増加に繋がっていると考えられる。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期			
	その他の数値指標1	児童センターでのイベント数	回/年	-	-	/	/	/	113	/	/	/	-	
4)定性的な効果発現状況	<p>・川之石地区交流拠点施設「みなせ」には、観光ボランティアや婦人会、お祭りなどの団体が集まり、子育てサロンや食生活改善推進協議会、将棋教室など様々な活動が行われており、地域の交流、子育て環境の充実に貢献している。</p> <p>・保内児童センター「だんだん」では、妊婦・乳幼児親子を対象としたイベント、小中高生を対象とした行事やクラブ活動が行われており、地域の憩いの場として、地域の賑わいの再生、子育て環境の充実に貢献している。</p>													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	指標「まちなみガイド利用者数」、指標2「児童センター利用者数」をモニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-	-					
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●						
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-						
	住民参加プロセス	保内ボランティアガイドの会(市民ボランティアグループ)		都市再生整備計画に記載し、実施できた				●	今後も継続し、中心市街地へ来訪者を呼び込む施策について検討を実施					
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-								
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-								
持続的なまちづくり体制の構築	子育てを支援する市民団体(子育てサロン「たんぽぽ」)		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-	今後も子育てに関する市民の自発的な活動を支援						
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●							
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-						

様式2-2 地区の概要

八幡浜中心地区(愛媛県八幡浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
『交流拠点を有機的に結び、魅力ある“みなとまち八幡浜”の再生』 1 行政・文化・観光拠点の有機的連携で都市機能を強化し、まちの賑わいを再生 2 子育て環境の充実により、安心して暮らせるまちづくりを実現	まちなみガイド利用者数 単位: 人/年	1099 H25	1,360 R2	373 R2
	児童センター利用者数 単位: 人/日	24 H26	60 R2	70 R2
	児童センターでのイベント数 単位: 回/年	—	—	113 R1



まちの課題の変化

- ・保内交流拠点施設と隣接する広場が一体的に整備された。来訪者の回遊を促す情報板が設置された。
- ・児童センターと隣接する駐車場が一体的に整備され、利用者数が目標を上回った。
- ・保内交流拠点施設、児童センターでは市民団体が自発的な取り組みを実施し、市民の子育て環境の充実を支援している。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・基盤となる拠点整備は達成されたため、各施設・住民参加を維持するとともに、交通拠点・都市拠点・交流拠点の有機的な連携の強化による回遊性の向上、中心市街地へ来訪者を呼び込む施策を検討し、交流人口の増加を図る。
- ・整備拠点で実施されている市民による自発的な取り組みの維持・充実を図る。